

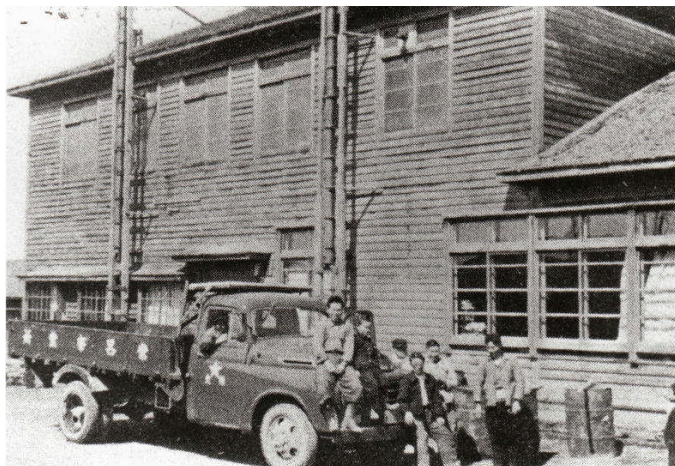
# あのときの常呂・写真館

VOL 26

(1947年)

昭和22年11月6日

常呂村農業会事務所（現常呂町農協）新築落成式



▶戦時中の昭和18年3月10日に「農業団体法」、9月11日に施行令が公布され、19年2月1日に常呂村産業組合と農会が合併する形で「常呂村農業会」が発足します。職員の増加により事務所が狭くなったため、19年2月26日の第1回役員会で事務所新築を決議しますが、実現は戦後の昭和22年11月16日の落成式まで待つことになります。



### ▶農業会事務所建築工事の経過

昭和21年8月10日地鎮祭、工事着工。10月10日上棟式、11月5日建前。その後凍結期間に入り、翌春まで工事中断。22年10月19日大工工事完了。11月5日左官工事完了、引き渡し。11月16日に一般会員を招き盛大に落成式を挙行、工事関係者に感謝状と記念品を贈呈。



### ▶豊川支所の沿革

川治地区組合員の利便性を図るため、昭和13年2月9日開催の通常総会で川治支所の設置を決議し、集乳所技術員宅を借り入れ改造し、4月から配給所として業務開始。昭和21年8月から昭和22年9月まで一時閉鎖しますが、昭和34年11月25日、常呂村農協豊川支所（事務所・店舗）が落成しました。



### ▶日吉支所の沿革

豊川支所同様に昭和13年の通常総会で手師学（日吉）支所の設置が決議され、同年12月4日に完成します。その後、昭和35年3月の通常総代会で、日吉支所事務所と店舗、職員住宅の新築が決定、理事会を経て同年9月24日に上棟式、支所は10月20日、職員住宅は11月5日工事完了。12月10日に落成式を挙行了しました。

▶農協の関連施設：昭和20-30年代

※農協購買店舗の沿革



昭和23年3月26日に農業会を解散し農協が誕生。農協創立当時の購買事業は本部事務所に内に店舗を設けていました。

25年に自由販売が可能になり、組合員の必需物資全般を取り扱うようになります。その後、昭和33年、事務所隣の精米工場が製麺工場に併置合併したため、精米工場跡を購買店舗として改築・開店しました。



\*左・下2枚は店舗内部の写真



\*写真の左：昭和16年設置／上川沿配給所

\*右：昭和11年設置／上川沿集乳所



### ※集乳所

町内に2つあった集乳所（岐阜・上川沿：前ページ）は、昭和30年に統合して雪印常呂工場になり、昭和49年に原料乳の配乳先が森永乳業佐呂間工場に変更され、常呂町の集乳施設は40年の歴史が終わります・

\*左：昭和30年代の雪印乳業常呂工場



上：昭和26年3月に設置された「食糧事務所北見支所常呂出張所豊川駐在所」

下：昭和22年5月に設置された「食糧事務所北見支所常呂出張所日吉駐在所」



### ※食糧事務所

農産物の検査事業は、大正2年9月7日に道雑穀商商業組合連合会乙種検査所として発足、北見国では野付牛・美幌・網走・常呂・紋別の5ヶ所でした。大正8年に北海道農産物検査所常呂村派出所となり、市街地・幌内・岐阜・手師学に駐在所を設置します。

\*常呂派出所の写真はありません

### ★豊川駐在所

大正13年 川沿駐在所として設置  
昭和12年 廃所  
昭和26年3月 豊川駐在所として設置

### ★日吉駐在所

大正8年4月 手師学駐在所として設置  
大正9年 廃所  
大正12年 再び設置  
大正13年4月 川沿駐在所の新設に伴い廃所  
昭和2年10月 ハッカ検査執行に伴い新設  
昭和16年 廃所  
昭和22年5月 新設開所